

JREL 仙台 組織部情報

J R 東労働組合仙台地方本部組織部

2020年 6月 8日

発行責任者 大越 和人
NO. 35

特集

新型コロナウイルス ～第2波正しく恐れる～

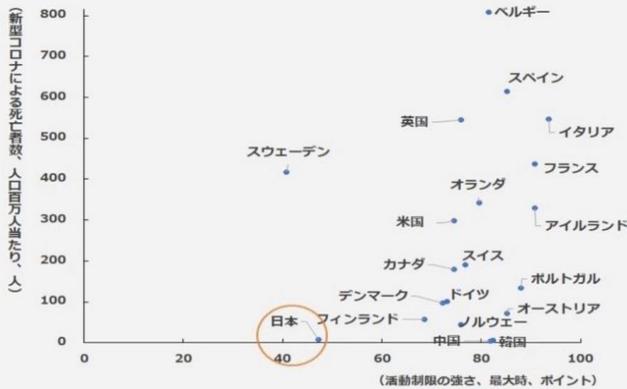
コロナウイルスの第2波が来ると言われていますが、私たちはこれまで正しく恐れるという事を、情報で発信してきました。第2波なのか？考えていきましょう。

これまでの研究結果やデータにおいて分かってきたことの一つに**他のウイルスに比べて脅威は大きくない**ということがわかっています。

下の図で分かるように日本では**死亡者数が圧倒的に少ない**という事です。季節性のインフルエンザよりも大きく下回っています。

高齢者や基礎疾患を持っている方にとってはウイルスの感染予防や重症化対策は必要です。一方で、**若年層にとってはリスクが低い**ということも明らかになっています。感染者〇名という報道による過度な自粛制限は必要でしょうか？

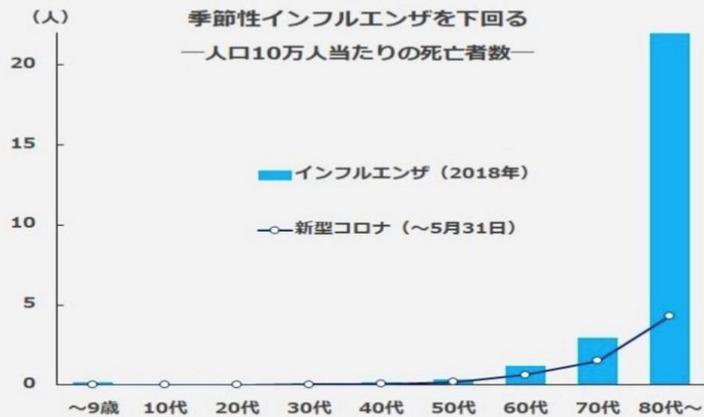
■日本の新型コロナによる死亡者数は圧倒的に少ない
—活動制限と人口比の死亡者数の関係—



(注) 死亡者数は直近値。

(出所) オックスフォード大学 "Coronavirus Government Response Tracker"より日本総研作成

■日本の新型コロナの死亡者数は
季節性インフルエンザを下回る
—人口10万人当たりの死亡者数—



(注) 新型コロナの不明分は、既知の年齢シェアで按分した。

(出所) 厚生労働省、総務省のデータをもとに日本総研作成

第2波が来ると言われていますが今後考えなくてはならないこと

- ① コロナウイルスの本当の危険度を知る
- ② 医療崩壊を防ぐためにも指定感染症の解除
(医療崩壊については組織部情報NO.34号参照)
- ③ 煽り報道に惑わされず正しい情報を見極める



なぜデータが揃っているにも関わらず危険を煽るのか？